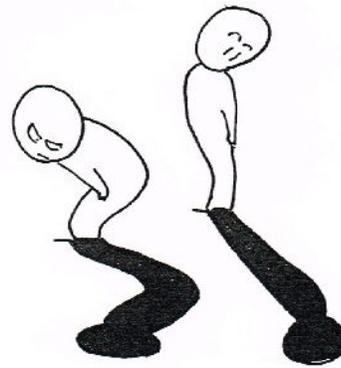


# 先週の回答

## 形影相 けい えい せい しょう しょう



「自分の姿  
形は始終鏡に写してみてるだろう」  
「まあ、年頃ですから」  
「姿には気を配っても、気をつけて自分の影をみたことはないだろう」  
「まあ、年頃ですから」  
「自分の形と影の關係に気をつけたことのない年頃は立派な大人にはなれない」  
「気をつけて見たって、デブは影もデブ、ヤセは影もヤセでしょう？むかしっから」  
「それがちがう」  
「どうちがうんですか？」  
「影と形の關係はそんな単純なものではない」  
「複雑なんですか？」

「『形（かたち）直（なお）れば則（すなわ）ち影（かげ）正（ただ）し』、表（おもて）正（ただ）しきは影正（かげただ）し。その身正（みただ）しければ影曲（かげまが）らず。形影相（けいせいしょう）同じとなる。わかるか？」  
「・・・」  
「誰も訪ねてくる人のいない孤独な一人暮らしの老人のさびしいさまを『形影相（ともしら）う』」  
「自分の形と影がなぐさめ合うという意味だ」  
「話し相手は自分の影だけなんですわね」  
「さらに『形影相伴（ともな）う』は影が形について離れないように、夫婦など常にいっしょにいるさまのことだ。わか

ったか？」  
「パパとママは常にいっしょにいるけれど、影はパパのほうがうすいのはなぜですか？」  
「・・・」

